

一般会計当初予算 140億7,800万円 前年度当初予算より5億2,000万円増

本定例議会に提出された54議案が原案どおり可決、成立。
平成十八年度補正予算関係13件、平成十九年度当初予算関係15件、条例関係等24件、工事請負変更契約1件、諮問1件。
(一般質問は16名、総括質疑では16名の議員が質問。)

予算の概要

国の地方財政計画の歳出抑制を受け公共事業費の縮減をはじめとする行財政改革による歳出全般の抑制傾向が続いている。特に、組織の再編成による、人件費や物件費の削減が進み予算規模は縮減している。

平成十九年度の特徴
○合併特例債を財源に地域振興基金を新規造成(10億円)
○実質公債比率抑制のため、起債繰上償還(5億4300万円)
○県知事、県議会、参議院等の選挙費(3900万円)

国の地方財政計画の歳出抑制を受け公共事業費の縮減をはじめとする行財政改革による歳出全般の抑制傾向が続いている。特に、組織の再編成による、人件費や物件費の削減が進み予算規模は縮減している。

○保育所建設費補助金(2億9700万円)
これら4つの特種要因を除けば、実質121億9900万円(前年度比13・3パーセント)の減額予算。

なお福祉事務所開設に(1億9900万円)、後期高齢者医療広域連合負担金(1000万円)それぞれ伴う。

主な歳入予算の状況
*町税は住民税、固定資産税、軽自動車税などで、予算規模の1割となっている。その約半分が住民税である。景気低迷により減収が続いているが税源委譲による税制改革により増収が見込まれる。

法改正と定率減税廃止により前年度比較で住民税において約1億1500万円の増収見込み。固定資産税は償却資産の減少により減額、トータルで5・6%の伸びにとどまる。

*地方交付税は自治体の標準的な行政運営のための財源不足を国の税収をもって補填するものであるが、年々減少傾向にあり、十九年度において72億4458万円となり、3億4610万円(4・6%)減少見込みとなる。一般財源総額(町税+地方交付税+地方譲与税+町債)は、92億557万円の見込みで平成十六年度比、8億9308万円(8・84%)減となる。つまり町にお金が入ってこないのが節約型の予算編成となっている。

主な歳出予算の状況
*人件費 職員給与費の削減を継続実施。退職予定者を見込み人件費総額は減額。
*扶助費 福祉事務所開設に伴い生活保護費の経費が新たに発生。児童福祉費も手当て拡充のため増大。
*公債費(町の借金を返済する為の経費) 公共事業費等を抑制し、繰り上げ償還を実施して起債制限比率を18・5%まで下げた。しかし15%以上の危険ラインの上であり、更なる行財政改革が求められるため償還は出来ない。平成十九年度当初42億6070万円を



3月定例議会

主な条例改正

○**隠岐の島町副町長定数条例及び地方自治法改正に伴う関係条例の整理に関する条例**
助役の名前が副町長に変わり定数を1人とする。職員と呼び名を町史員から町職員とし、収入役を廃止して、その職務を町職員の中から会計管理者を任命して行なわせる。

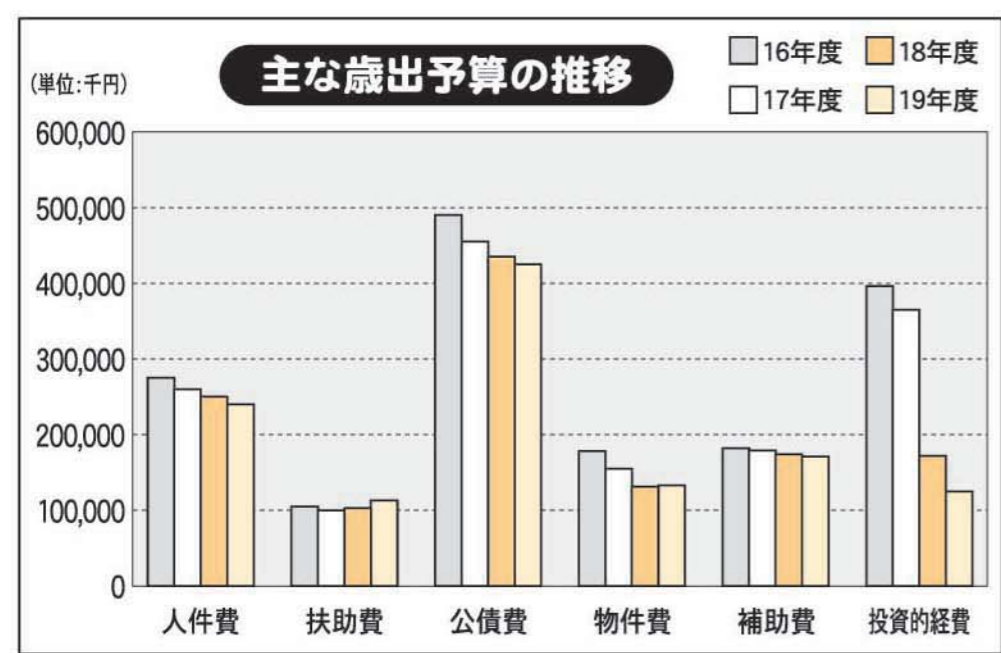
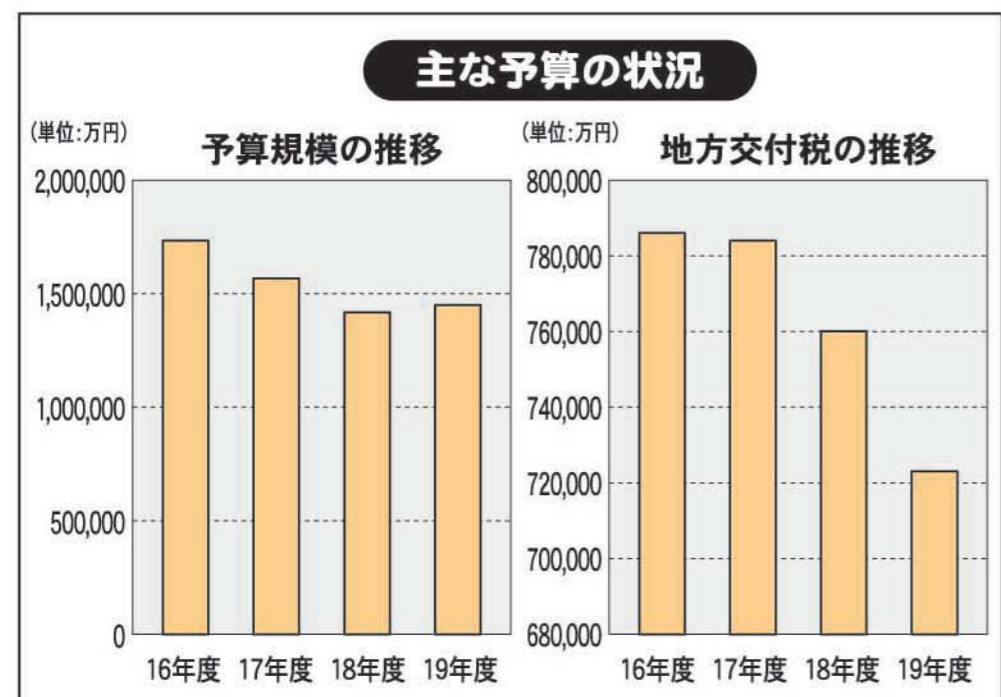
○**隠岐の島町安全で安心なまちづくり条例**
町民、事業所及び町の役割を明らかにし、防犯や防災に対し備え、円滑な施策を実施する。

○**隠岐の島町の町長、助役、教育長の給与に関する条例改正**
町長25%、助役20%、教育長19%それぞれ減額。期間は1年間。

○**隠岐の島町の職員の給与に関する条例改正**
財政悪化のため、8%から14%に減額。期間は2年間とする。

工事請負契約

◆平成十八年度町道蛸木線道路災害復旧工事
○請負者 隠岐の島町都万(栴田島組)
○変更前 5092万5000円
○変更後 5782万1400円
○変更理由 *崩土の含水比が高くセメントで改良する必要があるため、工事費を増額し、工期を五月三十一日に延期。



返済。借金残高は285億8000万円也。義務的経費に物件費、補助費、維持補修費を加えた経常経費の節減抑制を行っている。

*物件費 事務事業に要する消費的経費の総称であるが、10%削減の方針であるが燃油費の高騰で光熱水費を含めて増額となった。平成十九年度当初13億451万円、1427万円増(1・1%)。

*補助費 消防、病院、福祉施設などの隠岐広域連合等の負担金のほか、各種団体や事業に対する補助金である。平成十九年度は広域連合負担金の率の見直しと事業費の減少により減額。

經常収支比率 収入の一般財源から支出されるお金の割合で90%が危険ラインといわれる。平成十九年度は95・9%で、かなりきびしい。

投資的経費 公共の生活、産業基盤の整備の為の普通建設事業費。国からお金がこなくなり、町にお金が無いいため、事業計画等の見直しを行い、大幅な減額となった。雇用の場が無く